



- ・参加条件：学研災に加入していること。
- ・先着順ですが、このイベントに参加経験がない人を優先します。

ワークショップ

被災者の尊厳の視点から考える紛争・災害時の人道・緊急支援 ～スフィア・スタンダード、教育ミニマムスタンダードに学ぶ～

日時 2019年 **6月29日** (土曜日)
10:00～17:00

参加費無料
事前申込み制

場所 お茶の水女子大学国際交流留学生プラザ
2F 多目的ホール

講師 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)

人道支援の質と説明責任に関する必須基準 (CHS)の9つの質の基準



出典：『人道支援の必須基準：Core Humanitarian Standard』
CHS アライアンス・グループ URD・スフィア・プロジェクト、p.4

近年、日本を含め、世界的に自然災害が多発し、長期にわたり避難所等での生活を送る人々が増加しています。また、多発する紛争により、難民キャンプ等での生活を余儀なくされる人々も増えています。

紛争・災害時の支援のあり方について、被災者の尊厳の視点から、支援の原則と基準を明確にしたのが、「スフィア・スタンダード」「教育ミニマムスタンダード」です。これらのスタンダードは、国際的な基準であるとともに、日本の災害支援の現場での重要性も高まっています。本ワークショップでは、人道・緊急支援に関する国際基準について、基礎にある考え方、現場のニーズに根ざした支援のあり方について学び、紛争時・後の人道支援のあり方、災害支援のあり方について考察を深めます。

学内締切は**6月14日(金) 15:00** 申込は国際交流センターまで

- *前日の宿泊場所は、お茶の水女子大学が用意してくれます。
- *往復の交通の手配はご自身で。

後日、お茶の水女子大学より、JR奈良駅からお茶の水女子大学までの新幹線を利用した交通費（学割適用）が振り込まれます。

ワークショップ 被災者の尊厳の視点から考える紛争・災害時の人道・緊急支援 ～スフィア・スタンダード、教育ミニмумスタンダードに学ぶ～

内容

- ✓現場のニーズに即した人道支援とは？その中での国際基準の位置づけ
- ✓支援の質、説明責任、人道支援の原則（人道性、中立性、公平性、独立性、等）とは
- ✓スフィア・スタンダードとは？スフィア・スタンダードを用いたワークショップで学ぶ
- ✓ジェンダーに基づく暴力（GBV）への配慮について
- ✓INEE ミニмум・スタンダードとは？ INEE ミニмум・スタンダードを用いたワークショップで学ぶ
- ✓参加者による発表、ディスカッション等

講師



五十嵐 豪氏（プログラムマネージャー／AAR Japan（難民を助ける会））
2009年より現職。数多くの海外・国内の自然災害や人道危機の緊急支援の現場に出勤したほか、現在は人道支援に携わる人材育成のための研修講師やモジュール開発にも携わっている。



アクセス

●最寄駅から

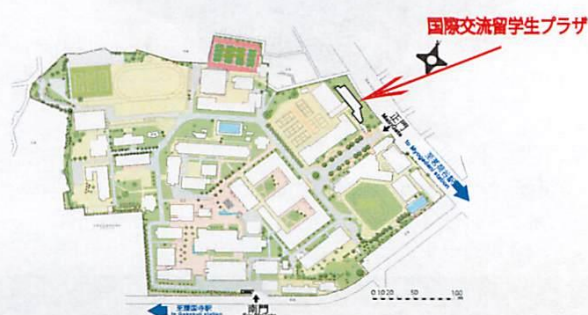
東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺駅」徒歩8分
都営バス都02乙「春日駅（一ツ橋）行」
大塚二丁目下車

※詳細については

本学ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.ocha.ac.jp/access/>

●キャンパスマップ



申込方法

5名の方が、宿泊・交通費の負担なしで参加できます。
学内締切日を確認して、国際交流センターへ申し込んでください。